

令和3年度 学校評価外部アンケートについて（概要）

渋谷区立幡代小学校

校長 奈良 佳津志

○実施目的:

「渋谷区立学校 学校評価実施要綱」に基づき、今年度の教育活動の効果について総合的・客観的に評価します。その結果に基づいて、改善策を立て、来年度の教育活動の充実・向上を図っていきます。評価と今後の方向性を公表・報告することで、保護者・地域の方の理解を得ながら、連携して学校づくりを進めてまいります。

○実施期間:令和3年11月～12月 保護者・地域:510名(回答数)

○実施方法:記名方式 Home&School

○公開方法:学校評価委員会を経て、区に報告および本校 HP にて公表します。

保護者会等において結果および今後の方向性の説明を行います。

○公開資料:令和3年度 学校評価外部アンケート(概要)

令和3年度 学校評価外部アンケート(詳細)

番号	質問項目	肯定的回答
渋谷区共通質問項目		
①	子供たちは、明るく、楽しく学校に通っていますか。	94.1%
②	学校は、子供たちの興味関心を引き出す教育活動を推進していますか。	81.5%
③	学校は、思いやりを育む心の教育を推進していますか。	71.9%
④	学校は、健やかな体を育む教育活動を推進していますか。	78.3%
⑤	学校は、ICT 機器を活用した教育活動を推進していますか。	70.1%
⑥	学校は、地域や渋谷区への誇りと愛着、プライドを育む学習を推進していますか。	72.4%
⑦	子供たちは、コロナ禍においても安心して学習に取り組むことができましたか。	81.5%
⑧	教職員は、子供たち一人一人をよく理解しようとしていますか。	78.1%
⑨	学校は、子供や保護者の相談に学校全体で対応していますか。	62.8%
⑩	学校には、教育に必要な施設・設備が整っていて、安全に対する配慮がされていますか。	71.7%
⑪	学校は、教育の方針を分かりやすく説明していますか。	77.9%
⑫	学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。	77.2%
本校の質問項目		
⑬	お子様は、挨拶や正しい言葉遣いをしていますか。	66.9%
⑭	お子様は、住んでいる地域や渋谷区への愛着が育っていますか。	71.7%
⑮	ご家庭では、タブレットやスマートホンの使い書いたやルールについて話し合っていますか。	75.6%

成果

15 質問項目中 13 項目で、7 割以上の肯定的回答を得られたことは、保護者や地域の皆様と連携しながら、教育活動を展開できたことと捉えています。

特に、子供たちは、明るく楽しく学校に通っているという評価が非常に高く、教職員一同、今後の励みになります。

課題

学校の相談体制、子供たち一人一人の言葉遣い、については、課題として受け止め、改善にとつとめます。

また、7 割以上の肯定的回答はいただいているものの、「ICT 機器の活用」、「思いやりの心の育成」につながる教育活動を推進してまいります。「施設の安全」については、今後も教育委員会へ強く要望してまいります。

自由意見より

250件を超えるご意見や励ましの声を頂きました。そのうち、代表的な内容を報告し、今年度の状況及び次年度の方向性をお伝えします。

① 学校の状況をもっと知りたい。

学校公開が少なく、学校での子供の様子が分からないという御意見を多数頂きました。学校でのお子様の様子を見ていただくよう計画するも、世の中の情勢が不安定になり、残念ながら見送らせていただいた結果、今年度は3回の公開実施となりました。次年度は状況を鑑み、今年度よりも参観機会を増やすと同時に、学校の様子をホームページやHome&Schoolでお知らせします。

② ICT教育(タブレット)を効果的に活用してほしい。

「タブレットを活用した授業を通して、お子様がタブレットを使いこなしている。」「ICT教育が盛んである。」等の肯定的なご意見もある一方で、「もっと積極的に活用してほしい。」「オンライン授業を実施してほしい。」「タブレットで宿題を出してほしい。」との御意見を頂きました。

学校では、教員全員がTEAMSを活用したオンライン授業、児童集会等を日常的に実施しております。日常の授業では、動画を撮影して動きを確かめたり、同時編集機能を活用して、クラス全員の考えを共有したりする等、活用を進めております。

一方で、文字をノートに書く等、鉛筆や紙を使用する学習方法も子供たちにとって必要と捉えております。双方の良さを理解し、児童の実態に応じた方法で学習したり、家庭で学習したりできるよう、取り組んで参ります。また、渋谷区の方針のもと、タブレット端末を用いた学校公開の実施を検討してまいります。

③ コロナ禍による行事の縮小、中止等について説明がほしい。

コロナ禍におき、今年度も行事や教育活動の縮小、変更をしてまいりました。「コロナ禍での子供たちへの教育機会を検討、調整頂きありがとうございます。」等のお声をいただく一方で、「コロナ対応としての判断が厳しすぎる。」「縮小、中止に至るまでの過程を説明してほしい。」等の御意見をいただきました。

緊急事態宣言下での運動会、水泳指導では、本校の児童数や施設の実態、本校でのコロナウイルス感染症拡大状況を考慮した結果の判断となります。状況が厳しい中で、運動会では、TEAMSを活用して児童が他学年の表現を鑑賞する機会を設けたり、水泳指導の実施期間を9月以降に延長したりと対応を続けてまいりました。しかし、判断に至った経緯の説明が不十分であったというご意見は、真摯に受け止めて次年度に改善してまいります。なお、個人情報保護の観点等のから、状況に応じては、説明が難しい場合もありますので、ご承知おきください。